大空 —放哉だより—

第154号　2024.6.5
発行：小豆島尾崎放哉記念館　〒761-4106 土庄町本町甲1082　☎62-0037

第七回 尾崎放哉賞

主催・自由律俳句結社　青穂（代表　小山貴子）

【一般の部】

尾崎放哉大賞

月を青くして誰もいないふる里　いまきいれ尚夫

優秀賞

大人びてゆく液晶のなかの教え子　明　大
墓にまっすぐ見られながら立ち去る　楽遊原
バス停に子を降ろして稲刈機は去る　田畑　剛
背中の淋しさを見られながらおいとまする　久光　良一
秋がこぼれきって葉の先　古関　聰

春陽堂賞

両手の団栗こぼしながら駆けてくる　宮澤省子

【高校生の部】

最優秀賞

同じ世界を見るために少し猫背になる　遠藤涼太

〈問い合わせ〉
ホームページ　http://www.housai-shou.com/
メールアドレス　hosaisan581@gmail.com
電話番号　０６-６８４４-１７１９（小山貴子）

※投句された全作品は「青穂」に掲載されています。
※第八回尾崎放哉賞作品募集要項は記念館にあります。

第２３回放哉ジュニア賞優秀賞受賞作品展（４月７日～５月２４日まで開催）

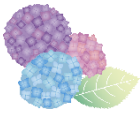
皆さんの作品を見て、それぞれどのような事を感じましたか？より多くの作品にふれることは俳句の上達に繋がります。この句は何を表現しようとしているのか、言葉の使い方や選び方など、自身が俳句を作るときの知識を増やすことができます。これからも是非、たくさんの俳句を鑑賞してみてください。次回もふるってご応募ください。お待ちしています。

【総評】選者・「放哉」南郷庵友の会　三枝断水氏

ＮＨＫの大河ドラマ「光る君へ」が始まりました。「源氏物語」の作者、紫式部が主人公です。まだ始まったばかりですが、式部が御簾の影に隠れて和歌を代作するアルバイトをしているのが何とも愉快でした。色々な制約があるから出来る作業でしょうか？放哉ジュニア賞の応募には使えない手です。感じてすぐ、ストレートに詠むのが自由律俳句のコツだからです。ズバリと言い放つのがキモです。むかし、「一言居士」という人たちがいました。的を射た警句を発する人のことでした。

ピシャっとした大胆な発言にシビレました。
目からウロコの発想(俳句)を期待しています。
がんばれ！放哉ジュニアっ子！

6月



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	❺	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

●放哉だより発行日
□記念館休館日　□資料館休館日